

授業科目名：	教員の免許状取得のための	単位数：	担当教員名：田中裕美子
保育内容（言葉）	必修科目	1単位	担当形態：単独
科 目	領域及び保育内容の指導法に関する科目（幼稚園）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		
授業の到達目標及びテーマ			
<p>子どもの発達を示すバロメーターであることばの発達を概観しつつ、その発達が子どものどのような行動に現れるかを学び、発達を捉える視点や発達を促すための基本的姿勢やかかわり方の実際を学ぶことをねらいとする。そして、クラス中での活動・遊びを考案し、また、絵本・紙芝居などの文化教材を使ってことばの発達を支援する方法を考え、実際の保育に生かせる技能を身につけることを目標とする。</p>			
授業の概要			
<p>年齢に沿ってことばの発達の現象を丁寧に見ながら、ことばを話す前から、あるいは、ことばでは表現されていない子どもの行動が示す発達の意味を学び、それに対する適切な大人のかかわりやことばかけはどのようなものかを考える。さらに、ことばを育む遊びや教材を考案して、クラス内での活動としてグループで発表する。</p>			
授業計画			
<p>第1回：ことばは子どもの発達のバロメーター  第2回：子どもはどのようにことばを身につけていくか  第3回：0～1歳児のことばと保育者のかかわり  第4回：1～2歳児のことばと保育者のかかわり（指導案の作成）  第5回：3～4歳児のことばと保育者のかかわり  第6回：4～5歳児のことばと保育者のかかわり-1（指導案の作成）  第7回：模擬授業：遊び・活動を通してことばを育む  第8回：ことばを育む遊び・活動を考える：グループ討議・発表  第9回：幼児教育の基本と領域「言葉」  第10回：4～5歳児のことばと保育者のかかわり-2（コミュニケーション言語と学習言語）  第11回：語り（ナラティブ）の発達とつまずき  第12回：ことばの遅れと言語発達障害の理解と支援  第13回：ことばを育てる文化財とは  第14回：文化財を使ったことばの指導法：情報機器を活用し、グループ発表を行う  第15回：全体総括 言葉と保育者のかかわり</p>			
テキスト「保育内容 ことば[第2版]（新時代の保育双書）」 成田徹男編 （みらい）			
参考書・参考資料等 なし			
学生に対する評価：指導案提出、模擬授業、グループ発表、事後レポート			